



それは、犯人が仕掛けた罠なのか？  
それとも、愛する娘からのサインなのか？

# 空白の8年間に いったい何があったのか——!?

カナダ・ナイアガラフォールズの街で  
つつましく幸せな家庭を築き上げたマシューが、  
突然の悲劇に見舞われた。それはある吹雪の日、  
スケート選手を夢見る9歳の愛娘キャスを迎えに行った  
帰り道のこと。行きつけのダイナーに立ち寄ったほんの数分の間に、  
車の後部座席に残したキャスが忽然と姿を消してしまったのだ。  
何者かによる誘拐を主張するマシューだったが、具体的な物的証拠や  
目撃情報は一切ない。刑事たちから疑惑の目を向けられたマシューは、  
娘の失踪に取り乱した妻ティナからも猛烈な非難を浴びてしまう。  
それから8年。捜査は完全に行き詰っていた。娘を守れなかった自責の  
念に駆られたマシューは、毎日あてどなく車を走らせてキャスを捜し廻っている。  
そんなある日、刑事がネット上でキャスに似た少女の画像を発見し、その後も  
彼女の生存を仄めかす手がかりが次々と浮上する。それはいったい誰が、何のために  
発したサインなのか。キャスは本当に今も生きているのか。やがてマシューの行く手に  
待ち受けていたのは、空白の8年間をめぐる想像を絶する真実だった——



## 白い沈黙



第67回カンヌ国際映画祭 コンペティション部門出品 作品  
出演:ライアン・レイノルズ、スコット・スピードマン、ロザリオ・ドーンソン、ミレイ・イーノス  
監督:アトム・エゴヤン 脚本:アトム・エゴヤン、デヴィッド・フレイザー  
原題:THE CAPTIVE/2014年/カナダ/112分/スコープサイズ/5ch 日本語字幕:佐藤恵子  
配給:キヌフィルムズ/ki no film 宣伝協力:LEM ©Queen of the Night Films Inc. shiroi-chinmoku.com

第67回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品  
され、大きな反響を呼んだこの衝撃作を手がけたのは、  
名匠アトム・エゴヤン。観客を幻惑し、挑発するかのよう  
に時系列を複雑に錯綜させ、なおかつ欠落したパズル  
のピースを埋める鮮やかな手並みで、幻のとき失踪  
事件の全体像を浮かび上がらせる独特の語り口は、  
映画ファンのみならず、ミステリーファンの感性を大いに  
刺激するに違いない。  
マシューを演じるのは、「リミット」「デンジャラス・  
ラン」のようなサスペンス快作からコメディまで多彩な  
役どころをこなすライアン・レイノルズ。そしてアプレ  
シリーズ「THE KILLING」に眠る少女」や  
「デビルズ・ノート」で並々ならぬ演技力を発揮してきた  
ミレイ・イーノスが、マシューの妻ティナに扮し、娘を想い  
続ける母親の失意と情愛を表現。加えて「トランス」  
「シン・シティ」復讐の女神」のロザリオ・ドーンソン、「死ぬ  
までにしたい10のこと」のスコット・スピードマンが刑事  
役でドラマに厚みを与えている。名匠の指揮のもと、  
充実のキャストが一丸となってオリジナルティあふれる  
『白い沈黙の世界』を構築し、観る者をめくるめく  
ミステリーの彼方へと誘ってくれる。

# 10月、ロードショー!

劇場窓口にてレディック®カード好評発売中! ¥1,500(税込/当日一般¥1,800の処)

地下鉄日比谷駅A5出口 左側  
TOHOシネマズ シャンテ

全席指定/入替制 050-6868-5001